

鳳南校区防災訓練 計画書（案）

こどもの命を守るための地域のあり方について考える 「親子防災訓練」の実施について

日 時 : 2015年2月8日（日） 10:00～15:00

場 所 : 鳳南小学校（体育館、グラウンド）

雨天時：体育館のみ（10:00～14:00）

内 容 :

10:00～10:30 全 員：防災訓練の説明（体育館）

10:30～12:00 大 人：防災講演会（2階家庭科室）

10:30～11:30 こども：人命救助（グラウンド）

11:00～14:00 全 員：炊き出し体験（グラウンド、ランチルーム）

12:30～14:30 全 員：防災ゲーム（体育館）

主 催：鳳南校区自治連合会、堺市鳳南校区まちづくり協議会、鳳南校区自主防災会

共 催：鳳南小学校PTA、鳳南校区連合こども会、鳳南校区連合こども会育成会

協 力：鳳南小学校、堺市西区役所、堺市西消防署

若草・やまびこ・なかよし・たけのこ・若竹の5単位こども会

指 導：(特非)さくらネット、(公社)日本技術士会近畿本部（登録）防災研究会

こどもの命を守るための地域のあり方について考える 「親子防災訓練」の実施について

1. はじめに

静岡県の駿河湾から九州東方沖まで約 700 キロにわたって続く、深さ約 4 千メートルの海底のくぼみで発生する「南海トラフ巨大地震」が近づいています。約 100～150 年間隔で、マグニチュード(M)8 前後の地震が繰り返されてきましたが、国は昨年 3 月から今年 3 月にかけて、「考える最大級」として M9.1 の地震の被害想定を発表しました。最悪の場合、死者が約 32 万人、建物の全壊が約 239 万戸に上り、東日本大震災の 1.8 倍の約 10 万 1500 ヘクタールが津波で浸水すると想定されています。

このような巨大地震の発生に備えて、「地域の将来を担う子ども達の命を守るには何をすべきか」を真剣に考えなくてはなりません。子ども達の命を守るために必要な事は、①地震から命を守るための正しい知識を得る、②地震が発生した時に正しい行動がとれるように日頃から訓練する、ことです。

そこで、鳳南校区自治連合会では、「こどもの命を地域で守るためには」ということを考えるために、「親子防災訓練」を企画しました。地域の皆様方のご理解・ご協力をよろしくお願い致します。

2. 実施内容

2.1 正しい知識を学ぶ

地震から身を守る方法、地震発生後の被災地で生き延びるためのあり方を、専門家や経験者から学びます。行政の立場、消防の立場、学術専門家の立場、防災ボランティアの立場など、様々な立場で活躍されている皆様から正しい知識を学びます。そのために、堺市危機管理室、堺市消防局、日本技術士会、さくらネットなどの協力を得て、子ども達に分かり易く説明して頂きます。

2.2 身体で行動を学ぶ

地震が発生した時に正しい行動が取れるように防災訓練を行います。「地震が発生した時どのように行動すべきか」について、普段は理解していても、いざ地震が発生してパニックになると、適正な判断や行動ができなくなります。そのため、どのように行動するかは日常の訓練により身体で覚える必要があります。

防災訓練としては、「緊急地震速報が発せられた時点での行動」「地震発生中の行動」「地震発生直後の行動」「電気・水道などが復旧するまでの行動」など、その状況に応じた行動が必要になります。これらの行動のあり方を専門家の指導の基で訓練します。

3. こども防災訓練の予定

日 時 : 2015年2月8日(日) 10:00~15:00

場 所 : 鳳南小学校 体育館、グラウンド

対象者 : 鳳南小学校に所属する1年生~6年生と保護者の皆様(300~500名を想定)

※幼児の参加も可能ですが、保護者が責任をもってお世話して下さい。

1. 堺市鳳南校区まちづくり協議会主催(10:00~14:00)

10:00~10:30 防災訓練説明会(体育館)

【ポイント】防災訓練の内容と注意点の説明

【実施内容】①挨拶、来賓紹介

②防災訓練の内容と注意事項の説明

10:30~12:00 大 人 : 防災講演会(2階家庭科室)

「助け合ってつくる安全・安心な避難所

~東日本大震災の経験から~」

講師 : (一社) 東日本大震災復興サポート協会

代表理事 遠藤雅彦 氏

10:30~11:30 こども : 地震体験と人命救助(グラウンド)

【ポイント】人命救助の方法を体験する

【実施内容】① 煙体験(1式)

② 消火活動の体験(水消火器使用訓練10台)

③ 人命救助の体験(たんか搬出訓練2ヶ所)

④ 消防車の展示

11:00~14:00 炊き出し体験(グラウンド、ランチルーム)

【ポイント】非常時での食事を体験

【実施内容】自分でご飯をつくってカレーライス

2. 鳳南校区自主防災会主催(12:30~14:30)

12:30~14:30 防災ゲーム(体育館、防災ブース、スタンプラリー方式)

【ポイント】ゲームを通じて防災のあり方を学ぶ

【実施内容】次ページ参照

4. 実施体制

主 催 : 鳳南校区自治連合会、堺市鳳南校区まちづくり協議会、鳳南校区自主防災会

共 催 : 鳳南小学校PTA、鳳南校区連合こども会、鳳南校区連合こども会育成会

協 力 : 鳳南小学校、堺市西区役所、堺市西消防署

若草・やまびこ・なかよし・たけのこ・若竹の5単位こども会

指 導 : (特非) さくらネット、(公社) 日本技術士会近畿本部(登録) 防災研究会

体育館での行事（午後）

1. 災害・防災展示パネル（指導：さくらネット）

◆準備物：展示パネル A1 サイズ 11 枚、A3 サイズ 7 枚程度

◆内容

①A1 展示パネル：11 枚

（阪神・淡路大震災 3 枚、東日本大震災 4 枚、能登半島地震 1 枚、水害 3 枚）

②A3 展示パネル：7 枚程度

（子ども防災啓発リーフレット拡大版：非常用持出袋、家の備え、171、心のケア等）

2. 子ども防災パネルクイズ（指導：さくらネット）

◆準備物：パネルクイズ 20 枚(60cm×60cm)、回答用紙、エンピツ

◆内容・実践方法 *クイズは何番から解いてもOK

○クイズ 20 問(4 種類×5 枚)

*内容検討中



3. 新聞紙でつくる簡易スリッパ（指導：さくらネット）

◆準備物：新聞紙 2 枚(見開き 1 枚で片足分)、セロハンテープ

◆内容・実践方法

①新聞紙を 1 人 2 枚配布する

②作り方の手順に従って、スリッパを作成する

◆ポイント

・災害時、部屋は物が落ちてきたり、ガラスが割れたり、危険な状態になることを伝える

・足を守るために、スリッパやクツなどを用意しておくことが大切だと伝える



4. 新聞紙でつくる紙食器（指導：さくらネット）

◆準備物：新聞紙 1 枚(見開き 1 枚)

◆内容・実践方法

①新聞紙を 1 人 1 枚配布する

②作り方の手順に従って、紙食器を作成する

◆ポイント

・災害時、食器が割れて困ったことを伝える

・身近にある新聞紙とビニール袋があれば、食器の変わりとして代用できることを伝える



5. キッチンペーパーでつくる簡易マスク (指導：さくらネット)

◆準備物：1人あたり：キッチンペーパー1枚、輪ゴム4本

◆内容・実践方法

- ①キッチンペーパー1枚と輪ゴム4本を配布する
- ②作り方の手順に従ってマスクを作成する

◆ポイント

- ・災害時、家屋の倒壊や火災で、まちにホコリがたくさん舞っているかもしれないことを伝える
- ・喉を守るため、健康を守るために、マスクが大切だと伝える
- ・風邪などひいた場合、他の人にうつさないために、マスクが大切だと伝える



6. 災害SOSカード (受付で配布)

◆必要物：災害SOSカード、ペン

◆内容・実践方法

- ①SOSカード1枚とペンを配る
- ②保護者の連絡先や自宅住所などを災害SOSカードに記入する

◆ポイント

- ・災害時、家族が一緒にいるとは限らないことを伝える
- ・携帯電話が繋がらないかもしれないことを伝える
- ・家族の連絡先がわからないと困ることがたくさんあり、知っておくと安心できることを伝える
- ・記入したSOSカードは、ランドセルのポケットに入るサイズになっている

災害時 SOS カード	
名前	年齢
住所	電話
学校	学年
誕生日	血液型
保護者の名前	
保護者の連絡先	集合場所

7. 映像、防災パネル展示 (休憩所)

◆必要物：映像、スクリーン、プロジェクター、パソコン

◆内容

*イベント開始時に、災害や防災の取り組みについて子どもたちにイメージしてもらうための映像

*岩手県釜石市釜石東中学校の避難についての解説映像(大人向け)

◆ポイント

- ・災害時の様子を知り、自分たちで判断し避難した中学生の姿を知る。

8. AEDコーナー (指導：鳳南校区防災士)



9. 紙ぶるる (指導：防災研究会)

紙で家を作り、その家を揺らして、構造の違いによる揺れ方の違いを体験する。



斜めの筋交がない場合の揺れ方



斜めの筋交がある場合の揺れ方



みんなで作って楽しく体験

10. ゆらり (指導：防災研究会)

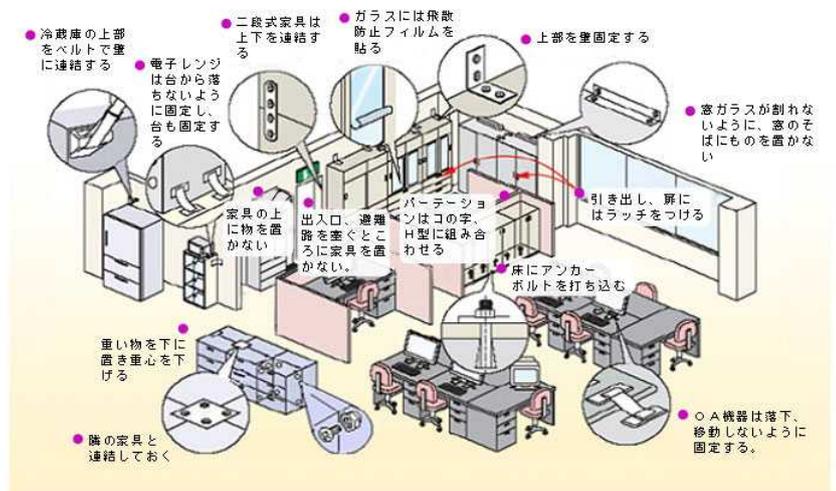
紙でできた模型の家を使用して、建築構造の「耐震」「制震」「免震」の建築技術を学び、建物の高さの違いによる揺れ方の違いを学ぶ。



11. 家具転倒防止

(指導：防災研究会)

家具の転倒防止方法をパネルで紹介するとともに困っている方々の相談に応じる。また、模型による家具固定の効果を経験する。



昼食（炊出し体験）

1. カレーライス



ご飯の作り方

- ◆必要物：ハイゼックス、無洗米、水、新しい輪ゴム、ビニールコップ（計量用）、ガスコンロ、レトルトカレー
- ◆作り方
洗った米と同量の水を袋に入れて、袋の中に空気が残らないように空気をぬきながら輪ゴム等で口を固くしばり、沸騰したお湯の中に入れて約 25 分煮ます。



ハイゼックス



ハウスお子様カレー（アレルギー対応、1袋 100g）

グラウンドでの行事(午前)

救護体験コーナー (2ヶ所)



水消火器体験コーナー (10本)



煙体験コーナー



消防車展示コーナー



こども消防士コーナー (5着)



可搬式ポンプ放水訓練



炊出し整理券

整理券種別	人数	準備開始時間	炊出し開始時間	食事開始時間
赤色	100人	10:30	11:00	11:30
青色	100人	11:00	11:30	12:00
黄色	100人	11:30	12:00	12:30
緑色	100人	12:00	12:30	13:00
黒券	100人	12:30	13:00	13:30

役割分担表

	会場設営				テント 発電機 投光器 設営訓練	受付	説明会	午前の部							午後の部						
	体育館	家庭科室	本部	ランチ ルーム				防災 講演会	炊出し	水消火器	可動式 ポンプ	人命救助	子ども 消防士	煙体験	消防車	紙ふるる	パネル クイズ	紙スリッパ	紙食器	マスク	AED
	9:00~9:30			10:30 ~11:00				9:00 ~9:45	9:30~	10:00 ~10:30	10:30 ~12:00	9:00 ~14:30	10:30~12:00			10:30~11:30		12:00~14:30			
運営責任者																					
自治会役員		○			○	2	○	50											○		
防災士					○					2	2	2							6		
PTA	○			○		2	○									5	5	5			
連合こども会	○	○	○	○		2	○		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1			
育成会									8												
単位こども会1									7	5					(2)						
単位こども会2									7		5			(2)							
単位こども会3									7			5			(2)						
単位こども会4									7				5				(2)				
単位こども会5									7					5				(2)			
消防署							○							○	○						
防災研究会							○							○							
さくらネット							○							○	○	○	○				

親子防災訓練プログラム(案)

鳳南校区自治連合会、堺市鳳南校区まりづくり協議会、鳳南校区自主防災会

	時 間	内 容	備 考
ま ち づ く り 協 議 会	8:30	連合役員・こども会会長集合	必要な機材・道具等の準備
	9:00～10:30	炊出し準備 連合役員・こども会役員	かまど・鍋・プロパン(8ヶ所設置) ハイゼックス(5ヶ所) カレー(1ヶ所)、予備お湯(2ヶ所) 準備場所(6ヶ所)
	9:00～9:30	体育館・家庭科室・受付の設営 連合こども会、こども会役員、PTA	体育館: 椅子400人分 家庭科室: 講演会の準備
	9:00～9:45	テント設営、発電機使用訓練 自治会役員、防災士	テント4張り(10人用×2張、5人用×2張)組立訓練 発電機(4台)、投光器(8台)使用訓練
	9:00～10:30	グラウンド設営 防災士、連合役員、消防署	担架訓練 : 2ヶ所 (消防署より借用) 水消火訓練 10ヶ所(消防署より借用) 可搬式消防ポンプ訓練(大人) 900リットル水槽は消防署より借用 煙体験 : 1ヶ所 消防車展示 : 1台 こども消防士(5着)
	9:30～10:00	受付開始	防災訓練のしおり、昼食整理券、SOSカード 講演会資料(大人のみ)、
	10:00	開 始 (体育館に全員集)	
	10:00～10:30	挨拶・内容説明	10:00～10:05(挨拶)鳳南校区自治連合会会長 10:05～10:10(紹介)西区役所代表、消防署代表、さくらネット代表、 技術士会代表、防災研究会代表、 鳳南小学校校長・教頭、PTA会長、連合こども会会長 10:15～10:30(内容説明)連合こども会会長
	10:30～11:30 ※状況に応じて 時間延長	防災講演会 自治会役員	10:40～12:00、2階家庭科室
		グラウンド防災訓練 こども達	
こども消防士 : こども会役員		着替え5着	
グラウンド防災訓練指導 : 防災士・こども会役員		担架訓練(2ヶ所) 水消火訓練(10ヶ所) 可搬式ポンプ訓練(1ヶ所)	
	グラウンド防災訓練指導 : 消防署	煙体験(1ヶ所) 消防車展示(1台)	
10:30～11:00	ランチルーム設営 連合こども会、PTA	廊下・室内 : ブルーシート敷設(土足厳禁)	
10:30～14:00	炊出し訓練 保護者・こども(グラウンド) (お世話)連合役員・こども会役員	ハイゼックスでご飯炊出し(各自) レトルトカレー ※食事はランチルーム使用可	
自主 防災 会	12:30～14:30 ※準備できしだい 開始	防災ゲーム 保護者・こども(体育館) (お世話) 自治会、防災士 さくらネット、防災研究会 こども会役員、PTA役員	防災パネル展示 防災パネルクイズ 新聞紙でスリッパを作る 新聞紙で食器を作る キッチンペーパーでマスクを作る 災害SOSカード作り 映像展示 AED訓練

親子防災訓練スケジュール表(案)

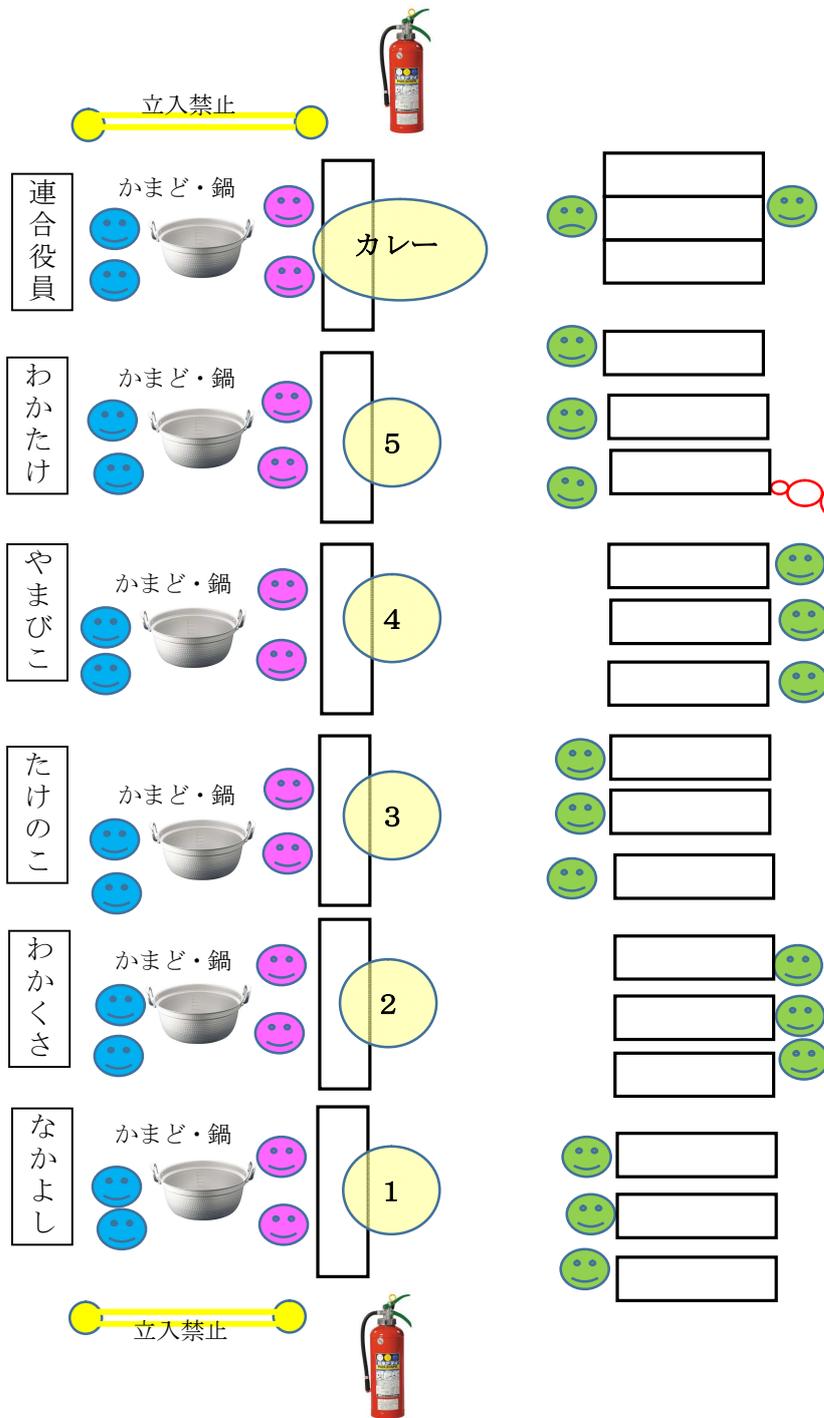
鳳南校区自治連合会、堺市鳳南校区まちづくり協議会、鳳南校区自主防災会

	準備		まちづくり協議会 主催行事												自主防災会 主催行事	
	8:00	8:30	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00						
連合こども会		集合 準備	体育館設営	運動場設営	炊出し準備	体育館設営	防災ゲーム手伝い	グラウンド片付け								
こども会		集合 準備	体育館設営	受付	炊出し準備											後片付け
PTA		集合	体育館設営	受付	挨拶・ 防災訓練趣旨説明	体育館設営										
自治会		集合	テント等防災設備準備													グラウンド片付け
保護者				集合												
子ども				集合												帰宅
防災士		集合	テント設営	運動場設営												グラウンド片付け
消防署					消防車等配置・準備											
																防災体験指導 終了
さくらネット		集合	体育館設営	準備	体育館											防災ゲーム指導
防災研究会			集合	体育館												防災ブース対応

イベントコーナー配置計画図



炊出しコーナー配置図



- ハイゼックス指導
- ハイゼックス受付
- 火の調整

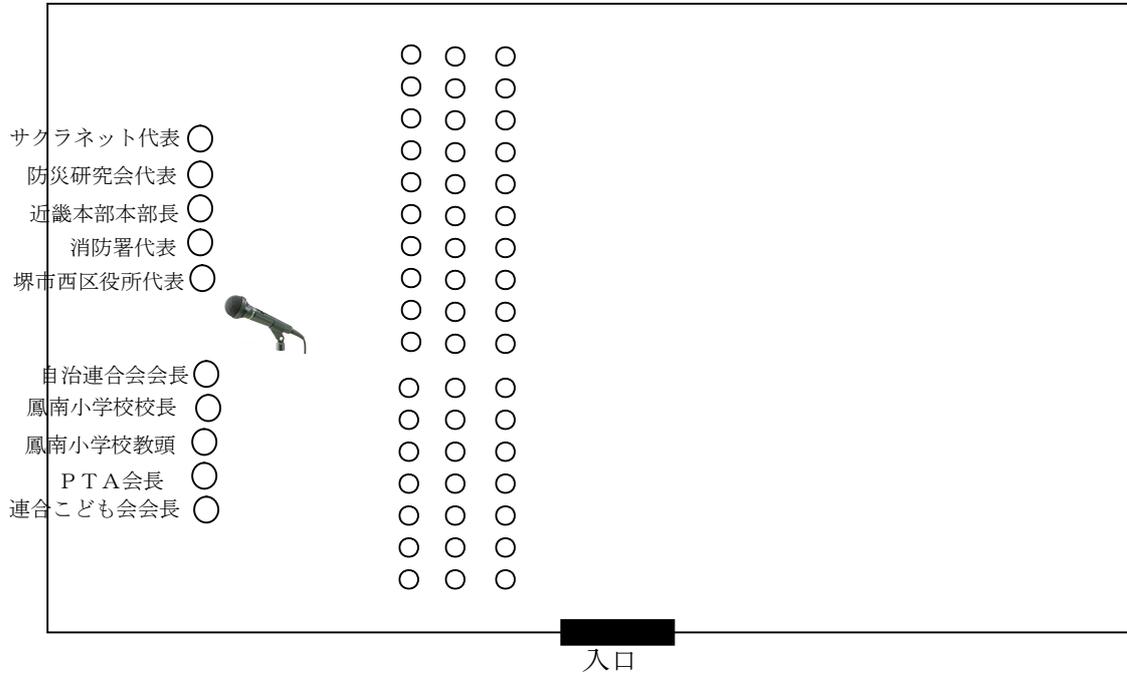
※注意事項
消火器を2本準備すること

ハイゼックスに
お米を入れる
場所

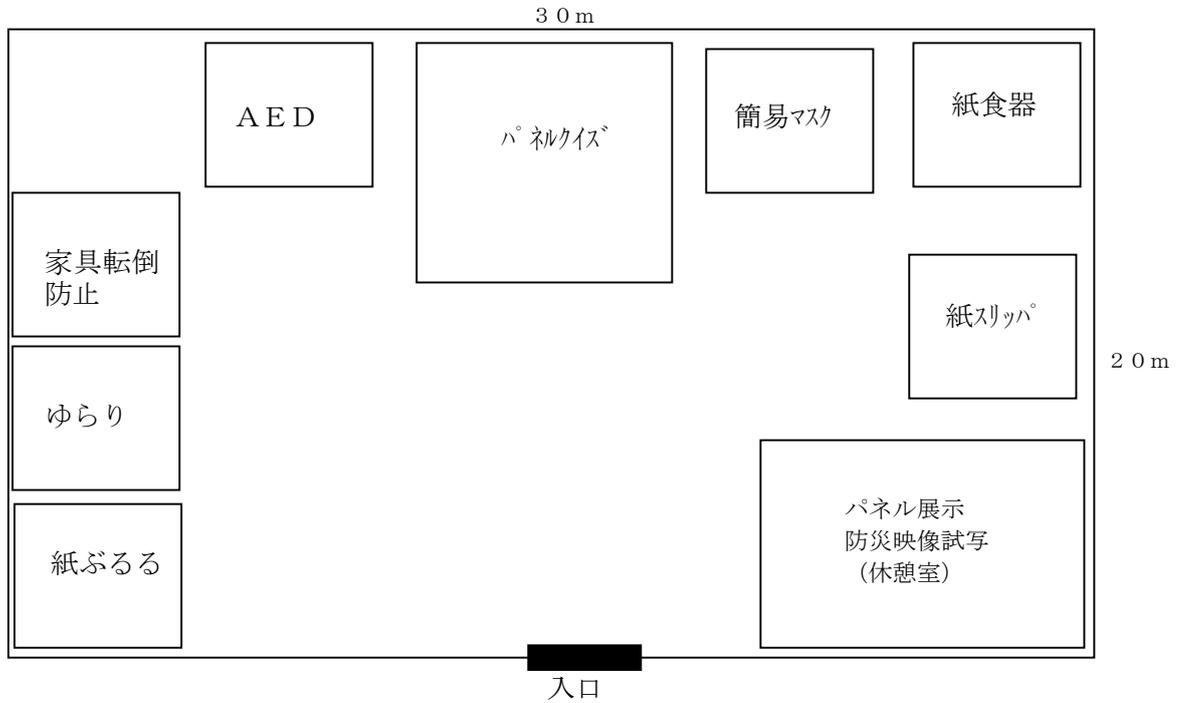
体育館設営計画（案）

1. 午前の部（挨拶、説明） 椅子400個

司会：中裏事務局長

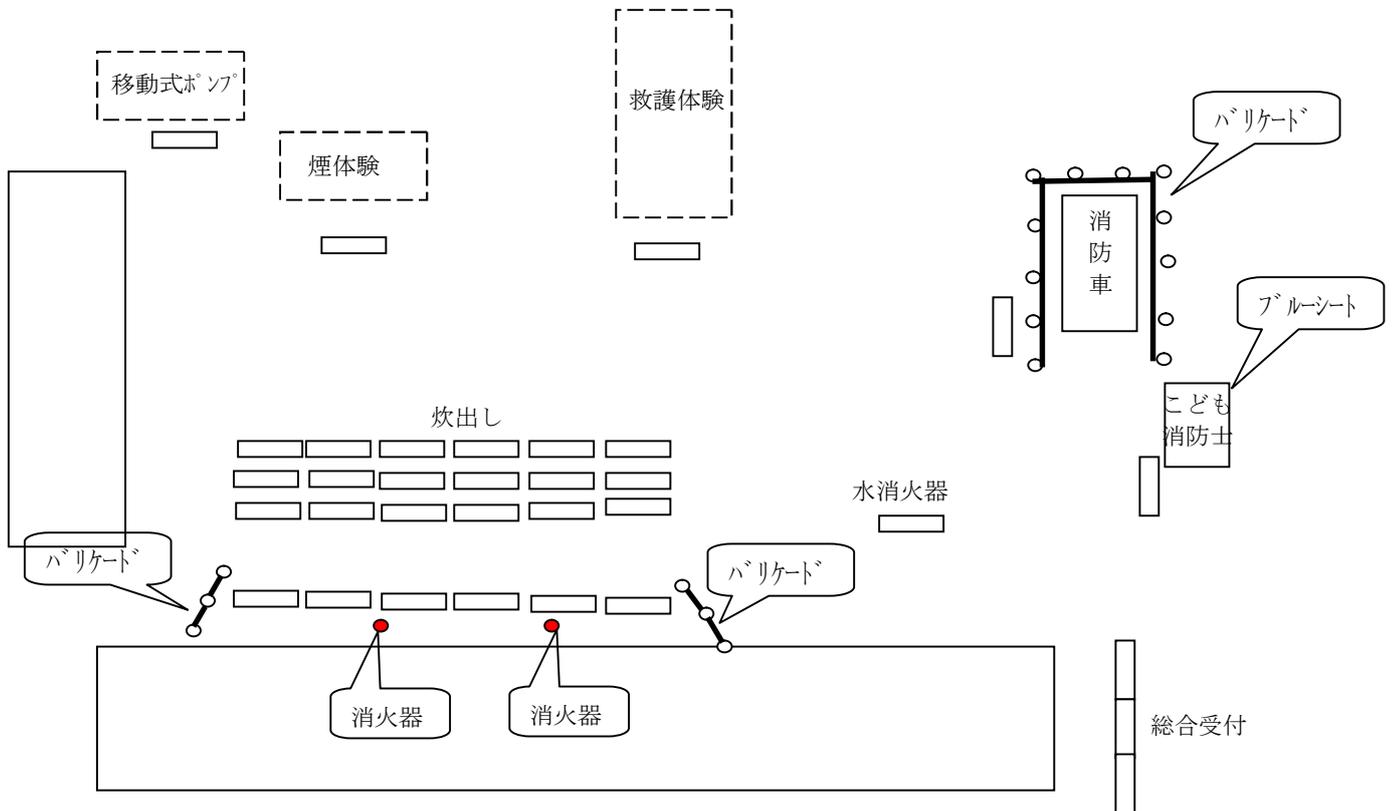


2. 午後の部（防災ゲーム）

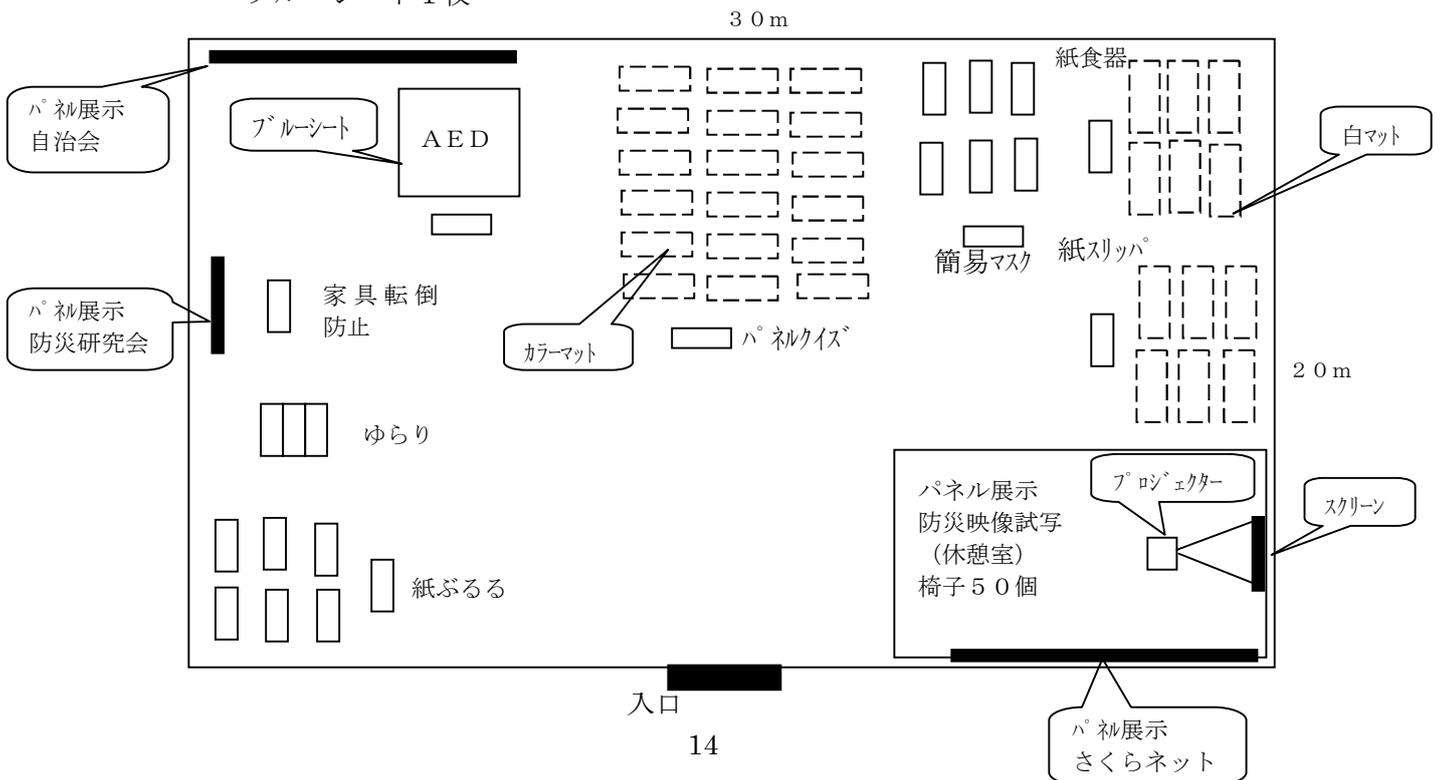


椅子・机配置計画図

グラウンド : 机 33 個、椅子 30 個 (机 1 ヶ所当たり 2 個)、ブルーシート 1 枚



体育館 : 机 23 個、椅子 66 個 (受付 16 + 休憩室 50)、白マット 12 個、カラーマット 18 個
ブルーシート 1 枚



地震が起きたら

グラっときたら まず身の安全を図る！

なによりも大切なのは命です。地震が起きたら、まず第一に自分自身の安全を確保しましょう。



避難は徒歩で 荷物は最小限に！

最寄りの避難所へ、なるべく広い道を利用して、できるだけ集団で歩いて避難しましょう。持物は最小限度にしましょう。



戸を開けて、出口の 確保をしましょう！

特に鉄筋コンクリートの建物内にいる時は、閉めたままですと建物が歪み、出入り口が開かなくなることがあります。



避難するときは、 連絡メモを忘れずに！

避難先や安否情報を書いた連絡メモを残しておきましょう。



あわてて、戸外に 飛び出さないように！

あわてて外に飛び出すと、瓦やガラス・看板の落下でかえって危険です。



水が引いても勝手に 戻らない！

津波は何度もやってきます。避難解除になるまで避難場所等に留まりましょう。



狭い路地、塀ぎわ、 崖、川べりに近寄らない！

ブロック塀・門柱・自動販売機等は倒れやすいので要注意です。



皆が協力しあって 応急救護をしましょう！

お年寄りや体の不自由な人、ケガ人等に声をかけ、皆で助け合いましょう。初期消火も皆で協力して取り組みましょう。



山崩れ、崖崩れ、 津波に注意しましょう！

ラジオやテレビで正しい情報を入手しましょう。津波警報が発表されたら、海岸付近にいる人は急いで高い所へ逃げましょう。



テレビ・ラジオや市の 広報で正しい情報を！

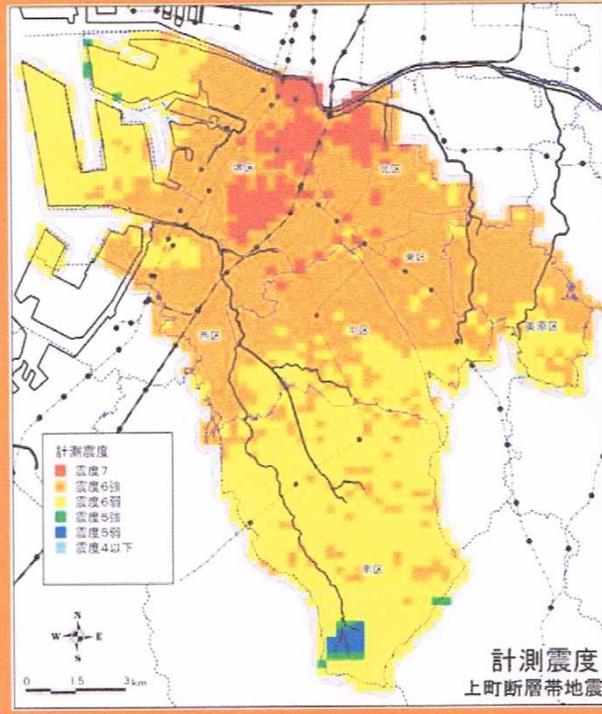
地震後はうわさやデマに惑わされず、報道や市の広報で津波の警報、注意報などを入手し、正しい情報に基づいて行動しましょう。



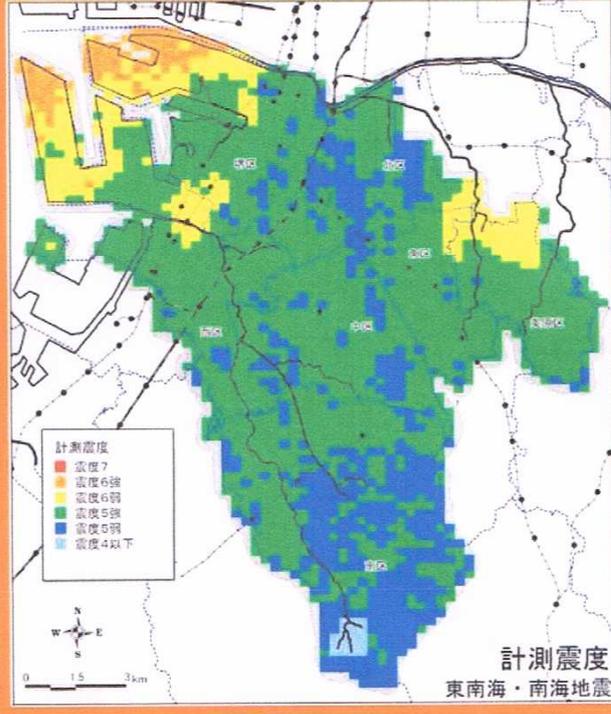
堺市地震災害想定

※市内で現実起こりうる大地震のケースを想定した一例であり、震度の分布傾向を知るためのもので、個々の地点での震度を予測したものではありません。

上町断層帯地震 (今後30年以内に発生する確率2~3%)



東南海・南海地震 (今後30年以内に発生する確率60~70%)



▼ 地震が起きたら

地震発生

- 地震の揺れに注意し、身を守る



- 逃げ口を確保する



- 津波の危険が予想される場合は16ページ参照。

揺れがおさまった

- がけ崩れの危険が予想される地域はすぐに避難する
- 火元の確認(早めにガスの元栓を閉め、電気スイッチ・ブレーカーを切る)
- 火が出ても落ち着いて初期消火 ●家族の安全確認

- 隣近所に声を掛ける ●近所に火は出ていないか確認
- 漏電、ガス漏れ、余震に注意

- ラジオや防災無線で正しい情報を確認
- 車で逃げない
- ブロック塀、ガラス、がれきに注意しながら避難

火災発見・家屋の倒壊発見・負傷者発見



みんなで消火活動
みんなで救助活動

避難生活

- 自主防災組織に協力して、秩序ある避難生活を心掛ける
- 壊れた家には入らない
- 助け合いの心を持ち、我慢も大切

▼ こんなときに地震が起きたら

道路を歩いているとき

- ガラスの破片、看板などの落下物に注意し、持ち物で身を守る
- 狭い路地や塀ぎわから離れる
- 老朽化した建物や崖(がけ)などの危険箇所から遠ざかる
- 近くの丈夫なビルや広場などに一時避難し、様子を見る

デパート、劇場にいるとき

- 天井からの落下物や窓ガラスなどに注意し、頭を守りながら柱や壁ぎわなど安全な場所に身を寄せる
- 倒れやすいショーケースなどから離れる
- 映画館や劇場などでは、持ち物で頭をかばい、すばやく座席の間に身を隠す
- 慌てて出口や階段に殺到せず、誘導灯や避難誘導者の指示に従い、落ち着いて行動する
- エレベーターは使わない

自動車を運転しているとき

- 急停車せず、徐々に減速し、道路の左側に停車しエンジンを止める

- カーラジオで情報を聞く
- 交通の妨げになるとき動かすことができるように、車から離れたときはキーをつけたままにし、ドアロックをしない

電車や地下鉄の車内にいるとき

- 急停車することがあるので、吊り革や手すりなどにしっかりつかまる途中で止まっても、非常コックを開けて勝手に車外に出たり、窓から飛び出したりしない
- 乗務員のアナウンスに従って、落ち着いて行動する
- 階段、ホームにいるときは、転落しないよう姿勢を低くして固定物につかまり、揺れがおさまってから避難する

危機管理室 ▶ ☎ 228-7605 FAX 222-7339

津波に備えて

市では、東日本大震災の津波被害の教訓を踏まえ、最大クラスの津波に備えて暫定的に津波高の想定を従来の2倍とし、満潮時を考慮した標高6.8mより西の低い地域を浸水想定地域と定めて津波避難対策を行っています。

なお、津波浸水想定地域は、平成25年8月8日に府が発表した被害想定の結果を受けて見直す予定です。最新の情報は市ホームページでご確認ください。



▼ 津波避難の基本的な考え方

- 1 JR阪和線を目標に、標高6.8mより高い高台に徒歩で避難しましょう。
- 2 逃げ遅れた方、遠くまで逃げるのが困難な方は、津波避難ビルなど高いところへ避難しましょう。

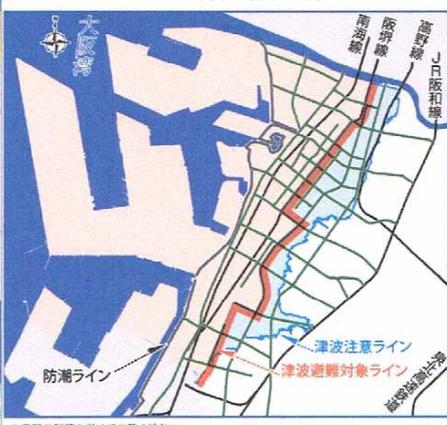
※津波避難ビル=津波浸水想定地域外の高台へ逃げるのが困難な場合、緊急一時避難場所として、鉄筋コンクリートまたは鉄骨鉄筋コンクリート造で耐震性の基準を満たし、3階以上の高さのある建物を津波避難ビルに指定しています。外から津波避難ビルであることがわかるように、入り口付近などにプレート【右図】を掲げています。最新の指定状況については、市ホームページでご確認ください。



堺市 津波ハザードマップ

津波警報・大津波警報が発表されたときはすぐに避難
 地震発生後、津波が到達するまでの約100分間に
 ● JR阪和線を目標に、東の高い所へ徒歩で避難しましょう。
 ● 逃げ遅れた方、遠くまで逃げるのが困難な方は、津波避難ビルなど高い所へ避難しましょう。

津波避難対象地域・津波注意地域
 津波避難対象地域 津波警報・大津波警報が発表されたときは、直ちに避難を開始してください。
 津波注意地域 大津波警報が発表されたときは、直ちに避難ができる準備をしてください。

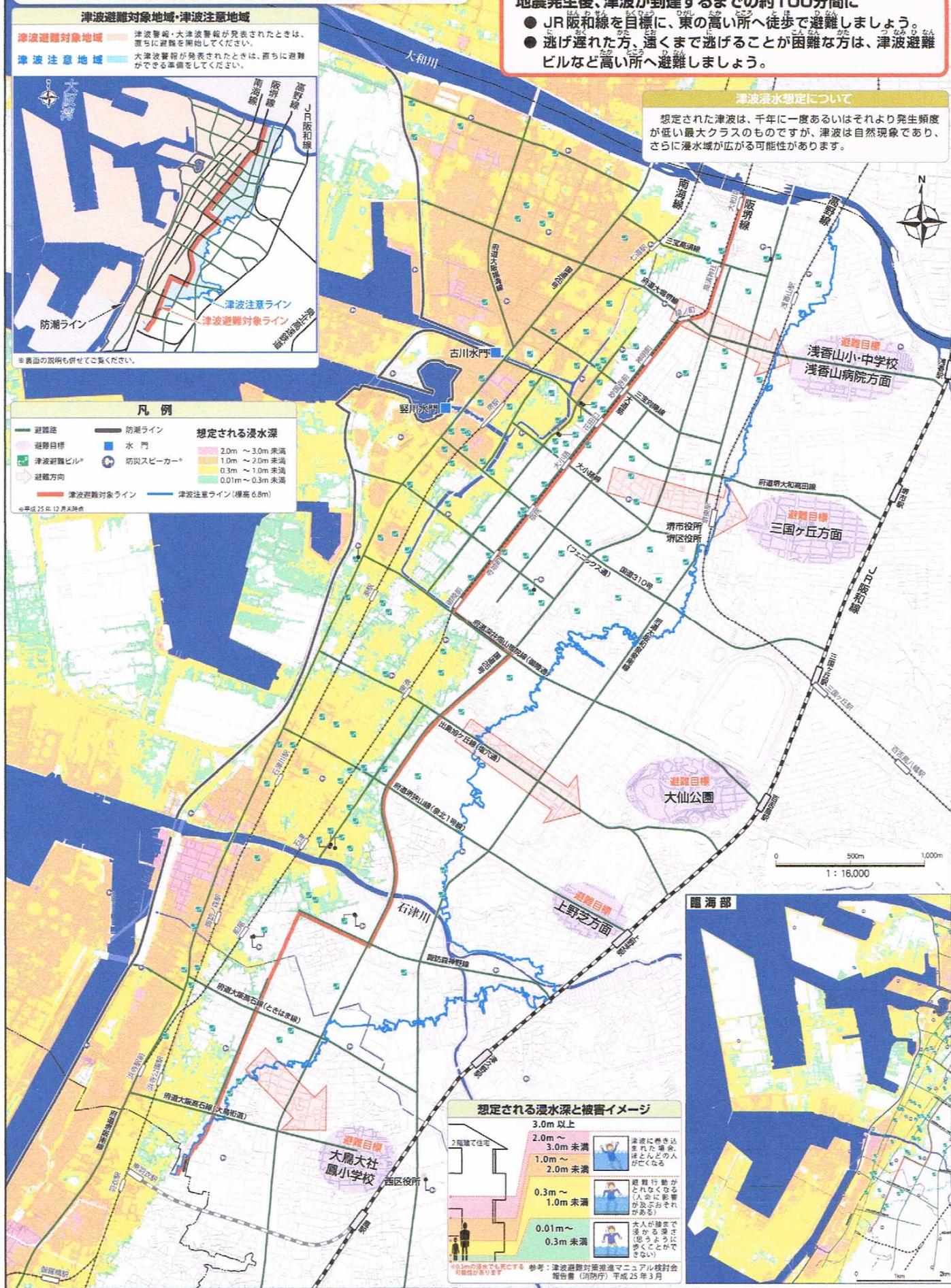


津波浸水想定について
 想定された津波は、千年に一度あるいはそれより発生頻度が低い最大クラスのものですが、津波は自然現象であり、さらに浸水域が広がる可能性があります。

凡例

避難路	防備ライン	想定される浸水深
避難目標	水門	2.0m ~ 3.0m 未満
津波避難ビル*	防災スピーカー*	1.0m ~ 2.0m 未満
避難方向		0.3m ~ 1.0m 未満
津波避難対象ライン		0.01m ~ 0.3m 未満
		津波注意ライン(標高 6.8m)

*平成25年12月実施



想定される浸水深と被害イメージ

3.0m 以上	津波に巻き込まれる恐れ。ほとんどの人がくたがる。
2.0m ~ 3.0m 未満	避難行動がとれなくなる(人に影響が及ぶおそれがある)
1.0m ~ 2.0m 未満	大人が膝まで浸る(思うように動くことができない)
0.3m ~ 1.0m 未満	
0.01m ~ 0.3m 未満	

※0.3mの浸水でも死に至る可能性がある
 参考：津波避難対策推進マニュアル検討会 報告書(消防庁) 平成25年3月



このマップは、大阪府が平成25年8月に発表した津波浸水想定に基づいています。

非常持ち出し品を準備しましょう

一次持ち出し品

被災直後、避難の際に持ち出す必要最小限の備えで、非常時の最初の一日間をしのぐための物品です。
非常持ち出し袋を用意して入れておきましょう。重さは男性で15kg、女性で10kg程度を目安にしましょう。

基本品目

生活用品等	食料関係	救急用品
懐中電灯・ローソク・ライター・携帯ラジオ・はさみ・軍手・手袋・ロープ・ガムテープ・タオル・ポリ袋・ウェットティッシュ・トイレトペーパー・レジャーシート・ブランケット・簡易トイレ・現金(小銭も)・筆記用具等	缶入り乾パン・飲料水等	救急袋(毛抜き・消毒薬…等)

以下のものは、上記の基本品目に加え、それぞれの状況に応じて持ち出すものです

必需品・貴重品	高齢者用品	女性用品	赤ちゃん用品
現金(予備費)・メガネ・コンタクトレンズ・携帯電話・預金通帳・印鑑・身分証明書類(健康保険証・免許証・パスポート・外国人登録証・住民票・証書類等)	看護用品・持病薬・高齢者手帳・メガネ(老眼鏡)紙おむつ・着替え	女性用品(ナプキン・おりものシート)化粧品ヘアケア用品(ブラシ・鏡等)	粉ミルク・哺乳瓶・離乳食・スプーン・紙おむつ・おしりふき・ガーゼ・洗淨綿・バスタオル・着替え・玩具・ベビーカー・母子手帳

二次持ち出し品

避難した後で、少し余裕ができてから、安全を確認して自宅へ戻り、避難所へ持ち出ししたり、または自宅で避難生活を送るうえで必要なものです。
救援物資が届くまでの数日間(3日~1週間程度)自足できる分量をそろえましょう。

食料品・飲料等	生活用品・衣料等
レトルト食品・缶詰(インスタントラーメン等)スープ・みそ汁・食塩・アルファ化米・切り餅・乾パン・パン缶・菓子類(ビスケット・キャンディ・チョコレート等)	着替え・下着類・毛布・タオル・ラップ・アルミホイル・紙皿・紙コップ等 新聞紙・使い捨てカイロ・安全ピン・予備電池・卓上コンロ・ガスボンベ・固形燃料 割り箸・スプーン・フォーク 携帯電話用充電器 鍋・やかん 石鹸・ドライシャンプー ハブラシ・ハミガキ粉 雨具

防災情報メール

防災情報を気軽に入手

携帯メールアドレスを「おおさか防災ネット」に登録していただきますと、気象・地震・津波情報、災害時の避難勧告・避難指示などの防災情報をメールで配信します。ぜひご登録ください。ただし、登録料は無料ですが、メール受信にかかる通信料(パケット料)は利用者の負担となります。

防災情報メールの配信登録は

「touroku@osaka-bousainet」へ空メールを送信して手続きを行うことができます。また、バーコードリーダー機能付きの携帯であれば、右記のQRコードを読みとり、空メールを送信して手続きを行うことができます。迷惑メール対策としてドメイン指定受信をされている方は、あらかじめドメイン指定「touroku@osaka-bousainet」に登録してください。また、URL付メール受信拒否、宛名設定等については各携帯電話会社または販売店にお問い合わせください。

問合せ先：大阪府政策企画部危機管理室消防防災課 TEL 06(6941)0351(代表) 内線4850



NTT災害用伝言ダイヤル

災害による緊急時の伝言に大活躍

大規模な災害が発生して電話が繋がりにくいときは、安否の確認や連絡用に利用できる「災害用伝言ダイヤル171」を活用しましょう。災害用伝言ダイヤルの提供開始や録音件数などはテレビ・ラジオ等でお知らせします。

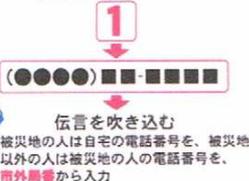
災害用伝言ダイヤル171の使い方

1 録音



伝言を録音する時は

171



2 再生



伝言を再生する時は

2



- 全国どこからでもメッセージを録音・再生。
- 災害による緊急時の連絡や安否の確認がスピーディー。
- 1メッセージあたり30秒まで録音可能。
- 公衆電話はもちろんのことダイヤル回線でもOK。
- 携帯電話、PHSからもご利用可能。
- ※一部の事業者を除きます。

※災害発生時の電話利用について、詳しくはNTTコミュニケーションズホームページをご確認ください。

災害用伝言板サービス

災害時に携帯電話で安否確認ができる『災害用伝言板サービス』を提供している携帯会社もあります。サービスの有無、内容等については、各社ホームページを参照してください。